羽村市立松林小学校　学校だより

松林

～自分でできる　一緒にやれる～

No.12
令和８年１０月９日
校長　　古瀬　義房

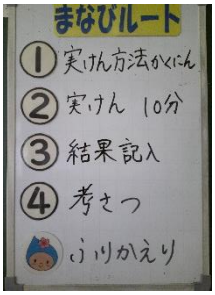
確かな学力の定着を目指して

教務主幹　山下　康平



松林小学校では、学習指導要領に示された資質・能力の育成を着実に進めるために羽村市で策定された「はむらの授業指針」に則り、授業づくりを組織的に行っています。「はむらの授業指針」は教師と児童、２つの視点で整理されています。具体的に日々の学習の中で取り組んでいることを紹介します。

まずは、「教師の授業改善」についてです。



まなびルート

①「まなびルート」の活用（児童の視点）

児童が学び方を理解したり、見通しを立てて学習したりできるように、授業の流れを掲示しています。学び方が分かることで、学習へ向かう意欲を高めることができると考えています。

②ICT を活用した協働的な学び（教員の視点）

児童が ICT を活用して、自分の考えを多くの人と共有したり、１つの作品を同時編集したりすることを通して、あらかじめ形成した自己の考えを再構築していきます。お互いを高め合う学びを通じて、思考力、判断力、 表現力などを育成することができると考えています。



ICT を活用した考えの共有

次に、「児童の学習習慣の定着」についてです。

③「自主学習」の推進（教員・児童の視点）

自主学習とは、学校で学んだことを振り返ったり、興味をもったことを調べたりする学びです。主に３年生以上が取り組んでいます。この取組には二つの大きな意図があります。

・「学びを自分のものにする」

授業で話を聞いて理解したと思っていても、少し経つと忘れてしまうものです。もう一度まとめたり関連する問題を解いたりすることで、知識の習得が確かなものとなります。

・「自ら学ぶ習慣を育てる」

将来、子供たちが社会に出たときに必要なものは、与えられたことをやるだけの姿勢ではなく、自ら課題を見付け、それを解決しようとする態度です。自主学習はその態度を身に付けるための第一歩となります。

松林小学校では、これらの取組を通し、児童の学ぶ意欲を高め、確かな学力の定着を図っていきます。保護者の皆様には、今後とも本校の教育活動に御理解、御協力いただけると幸いです。

今年度の運動会について、変更した点等について本日、色紙で印刷された「運動会の昨年度からの変更点について」「運動会の受付について」の2枚の手紙を配布しました。内容をよく御確認の上、御来場くださいますよう、お願いいたします。

ニコニコラム

生活指導主任　　桐生 砂千夏
特別支援コーディネーター 大根 佳奈

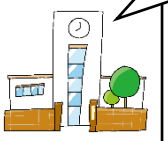
運動会に向けて日々練習を頑張っている子供たちです。保護者の皆様、地域の方々の励ましや応援が子供たちの大きなパワーになります。運動会当日も心温まる大きな声援をよろしくお願いいたします。

校内では事故や怪我を防ぐために廊下の歩行に重点を置いて指導しています。ついつい走ってしまい、ヒヤリとする場面もあります。お互いに安心して安全に過ごせる「優しい松林小学校」を目指し、指導、支援していきます。

10月の生活目標

【生活】すすんで体を動かそう。

【安全】校内での安全指導。



松林小学校では子供たちがインターネットやスマートフォンの利用を通して、トラブルや犯罪に巻き込まれないように、ルールを策定しています。
市内でもLINEのグループやメールのやり取りを通じたトラブルなどが増えています。まだまだ判断が未熟な子供たちを多くの大人の目で見守っていきたいと思います。ぜひこの機会に改めて家庭でのルールの確認をお願いいたします。

松林小学校10のSNS・端末利用ルール

【ルール 1】SNSは1日1時間までにしよう。

【ルール 2】午後9時以降はSNSを使わないようにしよう。

【ルール 3】家族と話し合って、SNSを使う場所を決めよう。

【ルール 4】書き込んだ内容は、相手の気持ちになって読み返そう。

【ルール 5】自分や友だちの個人情報は絶対に載せないようにしよう。

御家庭でお子様の利用状況をよく御確認願います。

【ルール 6】大切なことは直接話そう。

【ルール 7】SNS以外にも楽しいことがたくさんあることを忘れないようにしよう。

【ルール 8】フィルタリングを付けてもらおう。（端末利用）

【ルール 9】家族と話し合って、パスワードを設定しよう。（端末利用）

【ルール 10】困ったことが起きたら、すぐに先生やおうちの人に相談しよう。



【日々の頑張りに「心のケア」を】

運動会に向けて御家庭での御協力、本当にありがとうございます。子供たちは自分なりの頑張り方を考え、当日に向けて本当に一生懸命取り組んでいます。運動会は学校行事の中でも特に普段の生活への影響が大きく、子供たちにとっては「頑張り」の連続だと思います。強い緊張が続くと、疲労から「いつもより落ち着かない」「いつもより疲れやすい」等の変化が見られることがあります。これは子供たちが頑張っている証拠です。御家庭でいつもと違う様子が見られたら、子供の体調や気持ちに寄り添い、焦らずゆっくり休ませてあげる時間を大切にしてください。

また、学校では運動会での結果にこだわらず、練習への取り組み方等にも目を向けて子供たちの頑張りを褒めるようにしています。保護者の皆様から見て「最近こんなところで成長を感じるな」など、お気づきのことがありましたらぜひ担任までお知らせください。お子さんの今の頑張りを次につなげられるよう学校と御家庭で連携していければと思います。